

子どものスマホの管理、大丈夫ですか？

～保護者の上手なコントロール方法②～

「フィルタリング」は個別に利用を許可するカスタマイズや、長時間利用を防ぐ時間設定など、本体設定やアプリでできることはたくさんあります。目的に応じて柔軟に活用しましょう！

◇有害なサイト等へのアクセスやアプリの利用を制限したい

簡単に設定したい ～モード設定を活用しましょう～

フィルタリングサービスやアプリには、「小学生モード」、「中学生モード」などの学齢による分かりやすい推奨モードが設けられています。それらを選択するだけで、学齢に沿ったある程度のインターネット安全利用環境が整います。

＜制限カテゴリー例＞

	小学生モード	中学生モード	高校生モード	高校生プラスモード
制限対象	ゲーム	ゲーム	ゲーム	ゲーム
	動画・音楽	動画・音楽	動画・音楽	動画・音楽
	SNS	SNS	SNS	SNS
	出会い・アダルト	出会い・アダルト	出会い・アダルト	出会い・アダルト

iOSのアプリ制限等では、学齢ではなく年齢区分（4＋、9＋ など）で設定する場合があります。（「9＋」は「9歳以上」を表しています。）

うちの子は
小4だから「9＋」ネ

中学生は
「12＋」か！

きめ細かく設定したい ～カスタマイズ機能を活用しましょう～

アプリ単位やカテゴリー単位で、閲覧や使用の可否を個別で設定することができます。

アプリ〇〇 ☒
アプリ△△ ☐

長時間利用を防ぎたい

利用時間設定で、スマホやアプリ等が利用できる時間（長さ）や時間帯を設定することができます。

課金や位置情報

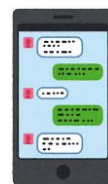
サービスやアプリによってさまざまな設定があります。目的に合わせて活用しましょう。

組み合わせるとこのような使い方ができます！

<例1>

スマホを使い始めたばかり。安全な環境を保ちつつ、家族との連絡用の SNS だけは使いたい！

…まずは、年齢に合った（または年齢より低い）モードを選択して、多めに制限をかけます。そして、カスタマイズ（個別設定）機能で、保護者が特定の SNS のみ使用許可する方法がおすすめです。



<例2>

基本は自由に利用しつつ、ゲームの利用時間だけはしっかりとコントロールしたい！

…「高校生モード」など、高めの学齢のモードを選択した上で、利用時間を設定できる機能を使う方法がおすすめです。



<例3>

利用時間や課金等について家庭のルールを設けて上手な活用を身につけたい！



…家庭で話し合ったら、目につくところに掲げ、各種設定や調整ツールを活用する方法がお勧めです。レポート機能で使い方を見直しなどもできます。

何にどれくらい利用したかの確認や、
利用時間のコントロール等が可能です。



デジタル ウェルビーイング
Digital Wellbeing
[Android10以上]



スクリーンタイム
[iOS12以上]



フィルタリングは青少年を違法・有害情報との不用意な接触から守り、安心・安全にインターネットを利用する手助けをするサービスです。例えるなら、ネットの世界に漂う「**見えない危険**」から身を守るための”マスク”。冷静さを欠いたアクセスに適度なブレーキをかけるだけでなく、**見た目ではわかりづらい悪意の仕掛けがあるサイト**などへのアクセスを防いでくれる頼もしいツールです。



<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2023年度）」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/